おまかせ
クラウドストレージ

利用マニュアル

サービス概要編

このたびは本サービスをお選びいただきまして誠にありがとうございます。

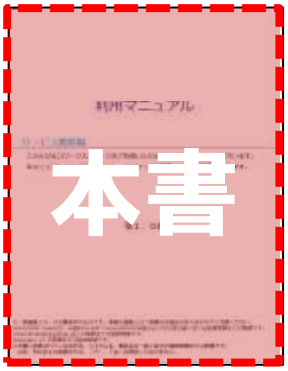
本マニュアルでは本サービスのサービス概要についてご説明いたします。

第2.9版

※一部画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは一部異なる場合がありますのでご注意ください。
※Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Office、Excel、PowerPoint、およびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※Mac、Safari、iOS、およびiPad OSは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
※FacebookはFacebook,Inc.の商標または登録商標です。
※Google Chrome、AndroidはGoogle LLC の商標または登録商標です。
※FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
※kintoneはサイボウズ株式会社の登録商標です。
※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

利用マニュアルについて

①：サービス概要



本サービスの
サービスの概要や特長を説明

②：導入編【設定例】

本サービスの初期設定を設定例
から説明

③：操作編
（管理者ユーザ詳細）

管理者権限を持つ利用者様向け
の操作説明

④：操作編
（一般ユーザ）

ユーザ向けの操作説明

⑤：ログイン・メールアドレス、パスワード変更、
アカウントロック解除編

本サービスへのログイン、メール
アドレス・パスワード変更、
アカウントロック解除の操作説
明

⑥：電子帳簿保存法対応編

電子帳簿保存法に対応するため
の設定・操作方法を説明

改版履歴

版	年月	改訂内容	改訂箇所
1.0版	2022年3月	初版作成	
1.1版	2022年3月	UTMやFirewallなどのNW機器の通信許可設定について、URLを更新しました。	7
		ストレージサービスドライブの提供条件を更新しました。	7
		仕様・制限事項を最新情報に更新しました。	8
1.2版	2022年6月	グループのシステムロールの説明を追記しました。	4
		UTMやFirewallなどのNW機器の通信許可設定について、URLを更新しました。	7
		提供条件を更新しました。	7
		仕様・制限事項を最新情報に更新しました。	8
1.3版	2022年9月	Microsoft Office連携機能提供に伴い、記載を更新しました。	1、3、6、7、8
		仕様・制限事項を最新情報に更新しました。	8
1.4版	2022年10月	電子帳簿保存法対応機能提供に伴い、記載を更新しました。	3、8
1.5版	2022年11月	「利用マニュアルについて」に「⑦：電子帳簿保存法対応編」を追記しました。	-
		ログインの方法追加に伴い、記載を更新しました。	1、3、8
		管理者ユーザが設定できるポリシーを最新情報に更新しました。	4
		2段階認証設定機能追加に伴い、記載を更新しました。	8
		ファイル・フォルダの移動制約を追記しました。	8
1.6版	2023年3月	提供条件を更新しました。	7
		「お問い合わせについて」を追加し、サポートセンターにお問い合わせいただく際にご連絡いただきたい事項について追記しました。	11
1.7版	2023年7月	Webからの申込受付閉塞に伴い、「利用マニュアルについて」を更新しました。	-
		Webからの申込受付閉塞に伴い、Web申込の記載を削除しました。	1
1.8版	2023年8月	ランサムウェア対策機能提供に伴い、記載を更新しました。	1、3、7
		仕様・制限事項を最新情報に更新しました。	8
1.9版	2023年10月	OSバージョン表を更新しました。	7
2.0版	2024年6月	ドキュメントレビュー機能・スマートフォルダ機能の提供に伴い、記載を更新しました。	1、2、3
		新プラン提供に伴い記載を更新しました。	2
		プラン変更に関する注釈を追記しました。	2
		UTMやFirewallなどのNW機器の通信許可設定で、「*.」（ワイルドカード）が設定できない場合の参考情報を追記しました。	7
		提供条件を更新しました。	7
		プロジェクトフォルダのメール通知数に関する制限事項を追記しました。	8

改版履歴

版	年月	改訂内容	改訂箇所
2.1版	2024年8月	iOSアプリ提供に伴い、記載を更新しました。	3 7
		スマートフォルダ機能の仕様を追記しました。	3
		ご利用環境を更新しました。	7
2.2版	2024年12月	「クォータ機能」に「フォルダ容量超過アラート」機能追加に伴い、記載を更新しました。	3
		ご利用環境を更新しました。	7
		ファイル・フォルダの移動制約にスマートフォルダを追記しました。	8
2.3版	2025年4月	ストレージサービス連携プラグイン for kintone提供に伴い、記載を更新しました。	3 7
		フレッツ光ライトのサービス終了に伴い、記載を削除しました。	3 8
		ご利用環境を更新しました。	7
2.4版	2025年5月	Active Directory認証連携について、注釈を追記しました。	3
		提供条件を更新しました。	7
		本サービスのパスワードポリシーの仕様を追記しました。 （8文字以上から10文字以上へ仕様変更を実施しました。）	8
		セッションタイムアウト時間の仕様について、記載を更新しました。	8
		ストレージサービスドライブ関連の仕様・制限事項を追記しました。	8
2.5版	2025年7月	Microsoft社のWindows 10の無償サポート終了（2025/10/14）に伴い、ご利用環境を更新しました。	7
2.6版	2025年10月	Microsoft社のWindows 10の無償サポート終了（2025/10/14）に伴い、提供条件を更新しました。	7
2.7版	2025年12月	CPUアーキテクトがARM（Snapdragon）に対応したストレージサービスドライブの提供開始に伴い、提供条件を更新しました。	7
		セッションタイムアウト時間変更に伴い、仕様・制限事項を最新情報に更新しました。	8
		iOSアプリのセッションタイムアウト時間を仕様・制限事項に追記しました。	8
2.8版	2026年3月	回線認証にNTT東日本の「フレッツ光クロス」「フレッツ光クロスBiz」を追記しました。	3 8
		ご利用環境を更新しました。	7
2.9版	2026年9月	ご利用環境を更新しました。	7
		共有リンク機能の改善に伴い、記載を更新しました。	8

目次

１．サービス概要 ･････････････ 5
２．ご利用プラン ･････････････13
３．主な機能 ･････････････15
４．ユーザタイプ･グループについて ･････････････19
５．利用できるフォルダについて ･････････････20
６．ファイルのバージョン管理について ･････････････21
７．提供条件 ･････････････22
８．仕様･制限事項 ･････････････30
９．ご利用方法について ･････････････37
１０．お問い合わせについて ･････････････38

1 サービス概要

サイバー攻撃への脅威がある中、ファイル共有を安心してテレワーク等で利用したいという課題に応えるため、**オンプレミスで利用している社内ファイルサーバーと同様の操作感**で**安心安全にどこからでも利用できるクラウドストレージサービス**です。

①簡単に

- Windowsエクスプローラーから利用できオンプレ機器と同じ使い勝手
- URLリンクのファイル共有

③いつも通りに

- 使い慣れたSaaSとの連携

Microsoft Teams連携
：ファイルが**一か所で管理**でき、アクセス権の**期限**も設定可能

API連携

共有フォルダで共同作業

Microsoft Office連携
：本サービスにあるOfficeファイルを他ユーザと共同編集することが可能

おまかせ クラウドストレージ

順次追加予定

シングルサインオン

コミュニケーションツール

業界特化SaaS 等

認証機能

②安心・安全にどこからでも

- 回線認証・閉域接続で高セキュア
- 自宅、オフィス、外出先、ゲストユーザ

NGN

インターネット

④利用しはじめ易く

- 無料トライアルでお試し利用

自宅　外出先　ゲストユーザ

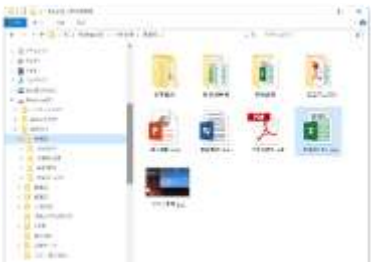
サービスの特長

特長１ クラウドであることを忘れる、ストレスのない操作性

お客さまのご利用形態に応じて、２つのインターフェイスを利用できます。

ツールをインストールするだけで、デスクトップ感覚で利用

- 現状の社内フォルダと同様の構成で、ドラック＆ドロップでのデータ移行が可能
- 現状の使い勝手と変わらずわかりやすいため、トレーニング不要かつ利用が定着



ブラウザで手軽に、高度な表示・検索機能も利用

- プレビュー機能により、その場でスピーディーなファイルの内容確認が可能
- URLリンクによるファイル共有、社外とのフォルダ共有など組織間を跨いだ「共働」をサポート
- 共有時の通知と履歴参照も可能

特長２ 柔軟な権限管理

現状の社内サーバ(NAS等)のアクセス権限と同様の階層構造の権限設定が可能です。

組織構造に合わせた柔軟な権限管理が可能

	事業部長	営業部長	営業一課課長	営業一課社員	営業二課課長	営業二課社員
第一事業部	○	×	×	×	×	×
営業部	○	○	×	×	×	×
営業部管理	○	○	○	×	○	×
営業部一課	○	○	○	○	×	×
営業部一課評価	○	○	○	×	×	×
営業部二課	○	○	×	×	○	○
営業部二課評価	○	○	×	×	○	×

アクセス許可項目を自由に組み合わせ可能

サービスの特長

特長3 強固なセキュリティによる安全なデータ保管

国内事業者による強固なセキュリティによりデータを安全に保管いたします。

データの機密性を保護し、国内で保管

保管されるデータの全てを自動で暗号化し、データの機密性を強力に保護します。

回線認証による「場所」に基づく認証機能

NTT東日本の「回線認証」機能を具備しており、セキュアに利用できます。

最高水準の暗号化技術

通信は全て、SSL/TLS暗号化によるHTTPS通信です。

サービスの特長

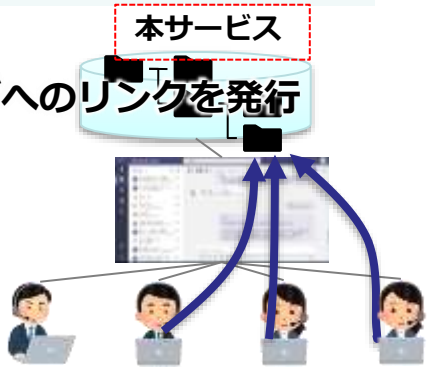
特長4 柔軟なサービス連携(各種SaaSサービス)

さまざまなSaaSとの連携により業務効率化を促進します。

シングルサインオンによりスムーズな接続が可能
(Facebookアカウント,Googleアカウント, Microsoftアカウント,dアカウント,オンプレミスのActive Directory)

Microsoft Teamsとのシームレスな連携により、簡単にチャットでのファイル共有が可能です。

※別途Microsoft Teamsの契約が必要です。



Microsoft Office連携により、本サービス上にあるOfficeファイルの編集がオンラインで実施できます。本機能でOfficeファイルの共同編集が可能です。

※別途一般法人向けMicrosoft アカウント（Business Basic/App for business/Business Standard/ Business Premium)が必要です。

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneにより、kintone上で本サービスのファイル操作が可能です。

※別途kintoneの契約が必要です。

サービスの特長

特長5 ランサムウェア検知と予防

本サービスのファイルに対する脅威を迅速に検知し、組織全体のストレージサービスドライブに対して予防を自動化

不審なファイル操作を自動検知

ランサムウェアの疑いがあるプロセスによる、本サービス内ファイルの「削除・変更・暗号化」といった更新操作を、ストレージサービスドライブが自動検知します(※)。

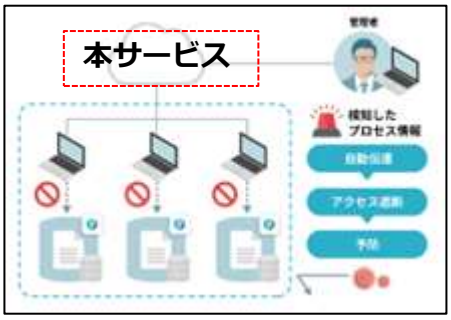
また「ランサムウェア検知アルゴリズム」はファイルフォース社側でメンテナンスしており、管理者による事前設定は一切不要で手間がかかりません。さらに、お客様は、ストレージサービスドライブ上のアラートメッセージや、管理者へのアラート通知メールを受け取り、迅速に初動対処を開始することが可能です。

なお、検知したプロセスによって更新されたファイルはクラウドへ自動同期されず、本サービスに保存されている他のファイルに影響はありません。また、ユーザー操作によるファイルの作成や変更操作は従来通り行うことができ、業務が中断されることはありません。

※100%の検知を保証するものではありません。

検知したプロセスの伝播と予防

ストレージサービスドライブにて検知したプロセスの情報は、組織内のすべてのストレージサービスドライブに自動的に伝播（伝達)されます。



これにより、検知したストレージサービスドライブだけでなく組織内のすべてのストレージサービスドライブに対して、対象のプロセスによる本サービス内ファイルへのアクセスを遮断し、本サービス内におけるランサムウェアの横展開と被害拡大を迅速に予防します。

サービスの特長

特長5 ランサムウェア検知と予防

インシデント管理画面

ストレージサービスドライブにて検知されたプロセスは自動的にインシデント（脅威となりうる事象）として管理画面に登録されます。
ひと目でインシデントの状態が把握でき、管理者による確認作業を省力化します。

また、プロセスを検知したストレージサービスドライブのバージョン情報・ユーザー情報・プロセス情報などのインシデント詳細も、このインシデント管理画面で表示・確認することが可能です。

このインシデント管理画面で「信頼されたプロセス」または「悪意のあるプロセス」のどちらかを判定してインシデントをクローズします。なお、画面上にはランサムウェアか否かの判定に役立つヒント（ツールチップ）が表示されるため、管理者が個別に調査をする手間を省き、迅速な対応を促します。

被害ファイル一覧ダウンロード

検知したプロセスによる被害があったファイルは一覧化してCSV形式でダウンロードすることが可能です。ランサムウェアによる本サービス内の被害範囲を即座に確認して特定することで、迅速な初動対応に貢献します。

本サービス内に保存されているファイルに対する不正な更新操作が発生した時間や、どのような操作があったか（ダウンロード、編集、コピーなど）の詳細が一覧化されることで、慣例法令対応やステークホルダーへの報告業務を大幅に効率化します。

サービスの特長

特長5 ランサムウェア検知と予防

ワンクリックで自動復旧

本サービスでは、検知したプロセスによるファイル更新時もバージョンファイルが作成・保存されています。インシデント管理画面で確認した被害ファイルを直前のバージョンファイルで上書きすることで、被害前の状態に戻すことが可能です。

また、バックアップからの復元とは違い、被害ファイルだけを特定した上でさらにワンクリックで一括復旧できることから、復旧業務の大幅な効率化・省力化につながるだけでなく、ユーザーが通常業務で更新したファイルは最新の状態が維持されるため、業務を進められないといった被害はありません。

信頼されたプロセス・悪意のあるプロセスの一覧

管理者が「信頼されたプロセス」と判断したプロセスと、「悪意のあるプロセス」と判断したプロセスおよびランサムウェアの疑いのあるプロセスは、それぞれ一覧で確認することが可能です。

サービスの特長

特長6 ドキュメントレビュー機能

ドキュメントに関わる「申請・承認」「レビュー」「回覧」等の業務フローが可能

ファイル単位で承認・回覧者を都度設定でき、予め承認ルートを設定する必要が無く、簡単・円滑なドキュメントに関わるコミュニケーションをサポートします。

ドキュメントレビュー一覧管理

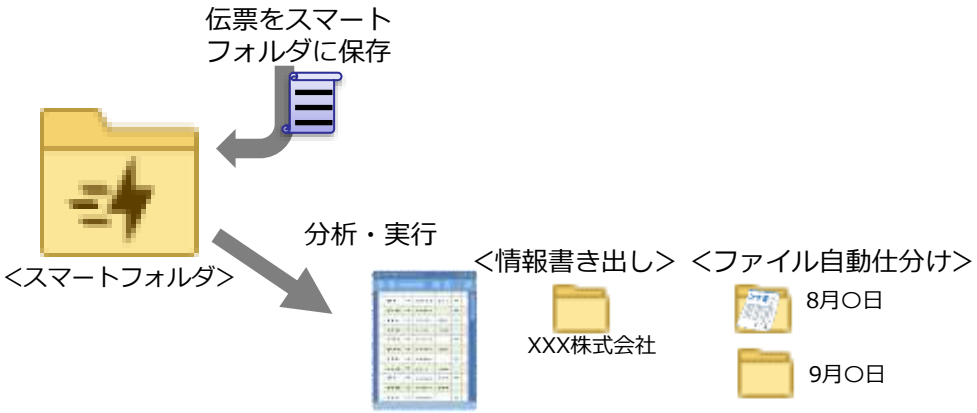
ドキュメントレビューの承認状況が一覧で確認でき、タスクの抜け漏れ防止も可能です。

※プライムプランをご契約の場合は、無制限でご利用可能
※無料トライアルまたはプライムプラン以外をご契約の場合「10回/月」でご利用可能

特長7 スマートフォルダ機能

AIによる自動振り分けが可能

特定フォルダにファイルを保存するとAIが解析し、自動的に必要な情報を抽出し、ファイルを整理することが可能です。



※プライムプランをご契約の場合は、「1IDあたり100ページ/月」でご利用可能
※プライムID追加は契約している全てのID数分の申込が必要
※無料トライアルまたはプライムプラン以外をご契約の場合「10ページ/月」でご利用可能
※2024年6月時点では、「電子帳簿保存法」のシナリオのみご利用可能

2 ご利用プラン

提供プランとご利用料金

本サービスでは、下記のプランをご用意しております。
ご利用のプランにより、利用できるID数とバックアップできる上限容量が異なります。

■無料トライアル：30日間無料で提供
※30日以内に、基本プランをお申し込みいただくことで、継続してアカウントをご利用いただけます。

ID数	保存容量	提供料金（税込）
5ID	100GB	**無料**

■基本プラン：利用人数および保存容量に応じたプラン

プラン名	ID数	保存容量	提供料金（税込）
スタート	5ID	100GB	**3,850円**
スタンダード	10ID	1TB	**7,700円**
ミドル	20ID	2TB	**15,400円**
アドバンスト	30ID	3TB	**23,100円**
プロフェッショナル	50ID	5TB	**39,600円**
スタートプライム	5ID	100GB	**5,500円**
スタンダードプライム	10ID	1TB	**11,000円**
ミドルプライム	20ID	2TB	**22,000円**
アドバンストプライム	30ID	3TB	**33,000円**
プロフェッショナルプライム	50ID	5TB	**56,100円**

※プライムプランをご契約の場合は、「ドキュメントレビュー機能」を無制限、「スマートフォルダ機能」をご契約ID数あたり100ページ/月のご利用が可能

■追加オプション（ID・容量・機能）　：上記基本プランに対し、ID・容量を追加

オプション名	提供単位	提供料金（税込）
ID追加オプション（500IDまで）	10ID毎	**3,300円**
容量追加オプション（20TBまで）	1TB毎	**5,500円**
プライムID追加（500IDまで）	10ID毎	**6,600円**

※プライムID追加は、契約している全てのID数分の申込が必要

注意事項

※本サービスのご利用にはメールアドレスが必要となります。利用者毎にメールアドレスをご用意ください。また、同じメールアドレスを異なる契約の利用者として登録することはできませんのでご留意ください。
※基本プランを解約した場合は50日程度、無料トライアルをお申し込みでトライアル期間が終了した場合は200日程度、同じメールアドレスからの再申し込みは不可となりますのでご了承ください。
※ID追加オプション（プライムID追加オプション含む）・容量追加オプションをご利用で上位のプランに相当するID数/容量をお使いのお客さまについて、自動的に上位プランへ移行することはありませんので、ご注意ください。
上位プランへのプラン変更をご要望のお客さまは、別途プラン変更のお申し込みいただく必要がありますのでご了承ください。

3 主な機能

■主な機能は以下の通り。

機能	内容	参照：利用マニュアル
認証	Webログイン時の多要素認証により、不正なログインを防ぐことが可能	• 導入編 • ログイン・メールアドレス（ID）、パスワード変更、アカウントロック解除編
回線認証	通常のログインに加え、回線認証によるセキュリティの強化を行う機能 ※NTT東日本・NTT西日本の「フレッツ光ネクスト」、NTT東日本の「フレッツ光クロス」「フレッツ光クロスBiz」（光コラボレーション事業者様が提供する「光アクセスサービス」を含む） ※ルータ等のネットワーク機器およびご利用のPC等の端末がIPv6に対応し、IPv6を利用する設定をする必要があります。 ※回線認証をご利用の場合も、別途インターネット接続の契約が必要です。 ※Microsoft Teams連携アプリ、iOSアプリ、ストレージサービス連携プラグイン for kintoneは回線認証に未対応です。	
他サービス認証連携	本サービスのログイン時に、以下のサービスの認証と連携する機能 ・Googleアカウント　・Facebookアカウント ・Microsoftアカウント・dアカウント ※他サービスのアカウントはお客様にてご用意いただく必要があります。 ※Microsoft Teams連携アプリは他サービス認証連携に未対応です。 ※iOSアプリはGoogleアカウントならびにFacebookアカウントの認証連携に未対応です。	
Active Directory認証連携	本サービスのログイン時に、ローカルのActive Directoryの認証と連携する機能 **※無料トライアルをご利用いただき、事前に動作検証いただくことを推奨します。** ※契約者はご利用できません。（Active Directory設定のみ可能） ※Active Directoryの認証連携ご利用には、Active Directoryフェデレーションサービスの構築（**SSLサーバー認証用の証明書について、自己署名証明書の利用は不可**）ならびに認証連携設定が必要となります。	• 操作編（管理者ユーザ詳細）「その他」 • ログイン・メールアドレス（ID）、パスワード変更、アカウントロック解除編
ユーザ管理	• 管理コンソールからユーザ作成が可能 • ユーザに管理者同等の権限「サブ管理者」権限を付与することが可能	• 導入編 • 操作編（管理者ユーザ詳細）「グループ・ユーザ管理」
グループ管理	• 管理コンソールからグループ作成が可能 • グループごとの権限管理が可能 • デフォルトで、「社内ユーザグループ」「社外ユーザグループ」が存在し、社内共有と社外共有の管理が可能	• 導入編 • 操作編（管理者ユーザ詳細）「グループ・ユーザ管理」

3 主な機能

機能	内容	参照：ご利用ガイド
ファイル操作	ブラウザでファイルのアップロード、ダウンロード、移動、コピー、削除等のファイル操作が可能	• 操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
バージョン管理	過去の更新ファイルを7日間保管が可能 ・ファイル保存のたびにバージョンファイルを作成 ・同名ファイルの上書き保存時にひとつ前のバージョンファイルを7日間まで保管し、7日経過後に消去	操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
ファイル検索	ファイル名やフォルダ名以外に、サイズや日付、属性指定など詳細検索可能	操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
フォルダ	「全社共有」「プロジェクトフォルダ(全社共有配下/パーソナルフォルダ配下）」「パーソナルフォルダ」の各フォルダを用途により使い分けることが可能 ※詳細は「5．利用できるフォルダについて」を参照。	操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
権限設定	各フォルダに対し、利用できるユーザ、グループの設定が可能	・導入編 ・操作編（管理者ユーザ詳細）「フォルダとプロジェクト」
ごみ箱	削除されたファイルは30日間ごみ箱内に移動され、戻すことが可能 ※自動削除設定により削除されたファイルはごみ箱に移動されませんので、ご注意ください。	操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
ファイル共有	社内組織、チーム内、外部へのファイル共有が可能	操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
外部メンバーとのファイル共有	「プロジェクトフォルダ」を作成することで、外部メンバーへのファイル共有が可能となり、外部メンバーは「社外コラボレータ」として「プロジェクトフォルダ」内のファイル操作が可能	操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」
PCマウント	パソコンにUSBやハードディスクを接続した際にWindowsが認識して使えるようになるのと同じ様に、本サービスをお使いのWindows PCでデスクトップ感覚でうことが可能	操作編（一般ユーザ）「ストレージサービスドライブ」
データ転送	「データ転送ツール」の利用することで、ファイルサーバーやNASのデータを移行することが可能	操作編（管理者ユーザ詳細）「データ転送」
クォータ設定	各フォルダやユーザごとに利用制限容量の設定が可能（「全社共有」フォルダ配下のみ、管理者へ利用制限超過の通知が可能）	・操作編（管理者ユーザ詳細）「フォルダとプロジェクト」 ・操作編（管理者ユーザ詳細）「その他」

3 主な機能

機能	内容	参照：ご利用ガイド
Microsoft Teams URLリンク共有機能	Microsoft Teams上で、本サービスのWebのご利用や、保存しているファイルのリンクを投稿が可能 ※回線認証・SNS認証は未対応です。	操作編（一般ユーザ）「Teams連携」
Microsoft Office連携機能	Microsoft Officeファイルを本サービス上で、プレビューや編集できる機能 ※提供条件の詳細は「7．提供条件」を参照。	・操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」 ・操作編（一般ユーザ）「ストレージサービスドライブ」 ・操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」
ストレージサービス連携プラグイン for kintone	kintone上で本サービスのファイルやフォルダの操作ができるプラグイン ※提供条件の詳細は「7．提供条件」を参照。	操作編（一般ユーザ）「ストレージサービス連携プラグイン for kintone」
電子帳簿保存法対応機能	検索要件に対応する「取引年月日」、「取引金額」、「取引先」、その他、管理番号等の情報をファイルに設定する機能（属性機能） ※属性機能はWebからのみ利用可能で、ストレージサービスドライブからは利用不可です。 ※電子帳簿保存法対応については、マニュアルを参考に適切な運用が必要です。	・電子帳簿保存法対応編
ランサムウェア対策機能	ランサムウェアによる本サービス上のデータの不正な書き換えをストレージサービスドライブで検知、管理者へ通知する機能 ”どのアプリ”が”どのファイル”を操作したか　をインシデントごとに一元管理し、利用者様の運用を完全に停止することなく問題のあるアプリからのファイル書き換えのみを防止することが可能 ※本機能は、本サービス上のファイルがランサムウェアによる被害が拡大するのを阻止する機能であり、クライアントPCの感染を防ぐものではありません。また、100%の検知を保証するものではありません。 ※ランサムウェア対策機能を使用するには、「インシデント管理ポリシー」の有効化と共に、ストレージサービスドライブをバージョン1.0.20117以降にアップデートする必要があります。	・操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」 ・操作編（一般ユーザ）「ストレージサービスドライブ」 ・操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」 ・操作編（管理者ユーザ詳細）「その他」

3 主な機能

■ドキュメントレビュー機能・スマートフォルダ機能に関わる仕様は以下の通り

項目	機能	内容	参照： ご利用ガイド
共通	**各機能の 利用回数**	**■プライムプラン以外をご契約の場合** **＜ドキュメントレビュー機能＞** 10回/月 **＜スマートフォルダ＞** 10ページ/月	・操作編（一般ユーザ）「ドキュメントレビュー機能」「スマートフォルダ機能」 ・操作編（管理者ユーザ詳細）「ドキュメントレビュー機能」「スマートフォルダ機能」
		■プライムプランをご契約の場合 **＜ドキュメントレビュー機能＞** 無制限 **＜スマートフォルダ＞** ご契約ID数×100ページ/月	
ドキュメント レビュー機能	**依頼可能 ファイル数**	**最大5ファイルまで** ※選択できるファイルは同一フォルダから ※パーソナルフォルダ内は対象外	
	依頼先設定 可能数	**＜承認・確認・校正・記入＞** 単一ユーザのみ選択可 **＜回覧＞** 複数ユーザの選択が可能 （最大100ユーザまで）	
	追加依頼 可能数	**＜承認・確認・校正・記入＞** 1つの依頼に対して10件 **＜回覧＞** 追加依頼不可（1回のみドキュメントレビュー依頼が可能）	
スマート フォルダ機能	**対応ファイル 形式**	**.pdf　.jpeg　.jpg　.png .bmp　.tiff　.tif**	
	PDFファイル に対する制限	**＜ページ数＞** 最大5ページまで ※6ページ以上のPDFファイルの場合、処理が実行されません。 **＜ファイルサイズ＞** 500 MB まで **＜その他＞** パスワードなしのみ	
	画像ファイル に対する制限	**＜ファイルサイズ＞** 500 MB まで **＜解像度＞** 50 x 50 ～ 10000 x 10000 pixels	
	対応シナリオ	2024年6月時点では、「電子帳簿保存法」のシナリオのみご利用可能	

4 ユーザタイプ・グループについて

ユーザタイプ種別

お客様が使用するユーザタイプには、『契約者』・『管理者』・『ユーザ』の３種類があります

①契約者
- ○ **本サービスの契約者**
- ○ 本サービスの管理者ユーザに権限を持つ
- ○ **１契約につき１ID**利用可能

②管理者ユーザ
- ○ 本サービスの管理者権限を持つ利用者
- ○ **１契約につき複数ID**利用可能
- ○ 利用者にて利用可能な機能すべてが利用可能
- ○ また、契約ID数内での**ユーザの作成・削除も可能**
- ○ **管理コンソール**により契約内の各種設定が可能

  例：ポリシー設定では下記ポリシーの設定が可能
  - •共有ポリシー
  - •メール送信ポリシー
  - •ユーザ・グループ参照ポリシー
  - •自動削除ポリシー
  - •ごみ箱ポリシー
  - •プロジェクトフォルダポリシー
  - •ファイルロックポリシー
  - •Microsoft Office連携ポリシー
- ○ 管理者ユーザは、フォルダ毎に保存・閲覧等ができるユーザ、グループを細かく設定可能

③一般ユーザ
- ○ 管理者ユーザが作成する利用者
- ○ 管理者ユーザの設定で、特定のフォルダでのみ管理コンソールが操作可能な「**サブ管理者**」の権限を保有することが可能

グループ

○ グループ単位で、権限設定などを設定が可能

○ 作成したユーザをグループに所属することが可能（1ユーザあたり最大20グループまで所属可能）

※親グループの中に子グループを設定するような「グループの親子関係」は設定できません。

○ 各グループに以下のシステムロール設定可能で、フォルダ表示時に利用できる機能を設定可能。
（サービスご利用開始時の設定で、システムロールポリシーにて変更可能）

システムロール	用途	利用できる機能
パワーユーザ	社外含めた他のユーザの情報登録・利用状況が可能な管理者向けの権限	共有リンク一覧 アドレス帳 ログ＆レポート
一般ユーザ	自分自身の利用に関してのみ変更/確認が可能な利用者向けの権限	共有リンク一覧
ゲスト	上記の機能を含めない最低限の利用者向けの権限	なし

5 利用できるフォルダについて

お客様が使用するフォルダには、以下の４種類があります

フォルダ	説明
①全社共有	▪ 利用者全員に共有するフォルダ。（利用には、各ユーザが所属するグループに対する権限設定が必要） ▪ 【全社共有】フォルダの下の階層からデータ保管領域となり、フォルダの新規作成やファイルの保管が可能 ▪ 全社共有フォルダは名前変更、削除不可
②プロジェクトフォルダ（全社共有）	• 全社共有フォルダ配下の共有フォルダ • 管理者により許可されているユーザのみプロジェクトフォルダの作成が可能 • 社外コラボレータを招待し、追加することで、社外と共有することが可能
③パーソナルフォルダ	• 管理者により許可されたユーザに与えられる個人のデータ保管用フォルダ • 管理者によりパーソナルフォルダを**【オフ】**に設定している場合は非表示 • 各ユーザのパーソナルフォルダへ管理者は参照不可
④プロジェクトフォルダ（パーソナルフォルダ）	• パーソナルフォルダ配下の社外共有用のフォルダ • 社外コラボレータを招待し、追加することで、社外と共有することが可能

ここに注意

各フォルダ間の移動制限については、「8.仕様・制限事項」を参照ください。

6 ファイルのバージョン管理について

■本サービスではファイルを上書き保存すると、1つ前のファイルが「バージョンファイル」として保管されます。

○ バージョンファイルは、ファイルが上書き保存されバージョンファイルとして保管されてから7日経過後、自動的に削除されます。

○ バージョンファイルとして保管されるファイルの容量は、使用容量に含まれません。
○ 保管されるバージョン数は無制限です。
○ バージョン管理されているファイルは以下が可能となり、誤って保存したファイルを前のバージョンに戻すことが可能です。
- バージョンファイルの入れ替え
- 別名で保存
- ダウンロード

ここに注意

Microsoft Office連携機能によるOfficeファイルの編集中は一定間隔でバージョンファイルが作成され、編集完了後にバージョンファイルの整理を実行します。
詳細については、「利用マニュアル　操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」」の「10.4. Microsoft Office連携機能によるOfficeファイルの編集時」を参照ください。

7 提供条件

本サービスへの通信

本サービスをご利用には、すべての通信はhttpsとなり、
TLS1.2に対応している必要があります。

UTMやFirewallなどのNW機器の通信許可設定

本サービスをご利用には、NW機器に下記URLへの通信の許可設定
が必要となりますので、事前にNW管理担当者様等にご確認ください。

※通信許可設定の際に、**下記URL一覧の上２つ**に対して、
「*.」のワイルドカードを指定できない場合は、次ページを参照してください。

■ホスト名(ログイン方法が「メールアドレス・パスワード」の場合)

***.cloud-nas.net**
***.cloud-nas.biz**（※IPv6の設定が可能の場合）
p01-ntte-cfs-application-contents.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com
cdn.auth0.com
cdn.jsdelivr.net
cdnjs.cloudflare.com
maxcdn.bootstrapcdn.com
ncfsoem.guardian.us.auth0.com
secure.gravatar.com
ajax.googleapis.com
fonts.googleapis.com
use.fontawesome.com
unpkg.com

Microsoft Office連携機能（Officeファイルのプレビュー、編集）をご利用の場合は、
下記Microsoft社の公式サイトの「Microsoft 365 Common および Office Online」
部分の内容を事前にNW管理担当者様等にご確認ください。
（※2022年9月時点）
https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/enterprise/urls-and-ip-address-ranges?view=o365-worldwide

※ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをご利用の場合は、下記URLの
通信許可設定の追加が必要です。
dzz9nyba0kgz0.cloudfront.net

■ポート

443(https)

参考情報

通信許可設定の際に、前ページの上２つのURLに対して、「*.」のワイルドカードを指定できない場合は、以下のURLを設定してください。

ff.cloud-nas.net
app.cloud-nas.net
api.cloud-nas.net
cc.cloud-nas.net
login.cloud-nas.net
scenter.cloud-nas.net
scenter-api.cloud-nas.net
workflow.cloud-nas.net
workflow-api.cloud-nas.net
smfolder.cloud-nas.net
smfolder-api.cloud-nas.net
link.cloud-nas.net
link-api.cloud-nas.net
filesign.cloud-nas.net
filesign-api.cloud-nas.net

（※IPv6の設定が可能の場合）
ff.cloud-nas.biz
app.cloud-nas.biz
api.cloud-nas.biz
cc.cloud-nas.biz
login.cloud-nas.biz
scenter.cloud-nas.biz
scenter-api.cloud-nas.biz
workflow.cloud-nas.biz
workflow-api.cloud-nas.biz
smfolder.cloud-nas.biz
smfolder-api.cloud-nas.biz
link.cloud-nas.biz
link-api.cloud-nas.biz
filesign.cloud-nas.biz
filesign-api.cloud-nas.biz

メールの受信許可設定

本サービスからのメールは送信元のメールのドメインは「@cloud-nas.net」です。
メールフィルター設定を実施されている場合は「@cloud-nas.net」ドメインの
許可設定や迷惑メールとならないように設定変更をお願いします。

※受信メールの転送設定を行っている場合は、メール転送先についても
同様にご確認ください。

7 提供条件

Web

本サービスをパソコンのブラウザでご利用の場合、
提供条件は以下の通りです。

■ＯＳ

以下のバージョンのOSが動作すること

OS	バージョン
Windows	Windows 11
Mac	macOS 14 Sonoma
	macOS 15 Sequoia
	macOS 26 Tahoe
iOS / iPad OS	18,26
Android	12,13,14

■ブラウザ

以下のブラウザが動作すること

<Windows>

- **Microsoft Edge バージョン89 以降**
- **FireFox　バージョン86 以降**
- **Google Chrome バージョン89 以降**

<Mac>

- **Safari バージョン15 以降　※Microsoft Office連携機能をご利用できない場合があります。**
- **FireFox　バージョン86 以降**
- **GoogleChrome　バージョン89　以降**

<iOS / iPad OS>(※1、※2)

- **Safari バージョン15　以降**

<Android>

- **Google Chrome バージョン123　以降**

ここに注意

※１．社外メンバーは、スマートフォン/タブレットには対応しておりません。PCブラウザからのご利用をお願いいたします。

※２．モバイル用UI（iOSでSafari、ならびにAndroidでChrome）をご利用の場合、利用可能な機能は下記の通りです。

●ファイルの下記操作
・アップロード　・ダウンロード　・移動
・削除　・プレビュー　・マイリストへの追加
●フォルダの新規作成
●共有リンクの承認
※「Microsoft〇〇で編集」ならびに「Microsoft〇〇で開く」は利用不可です。

■プレビュー機能をご利用の場合は、下記をご注意ください。
・プレビュー機能は、簡易的に内容を確認することを目的としているため、元の表示の様に完全に再現されない場合があります。
プレビューできない場合、または、ファイル内全ての内容を同等の解像度で表示させたい場合は、一度端末へファイルを「ダウンロード」し、ご確認ください。
・ポリシー設定でMicrosoft Office連携機能によるプレビューが許可されていない場合、Officeファイルのプレビューはできません。設定内容については、管理者様にご確認ください。

7 提供条件

●ストレージサービスドライブ

ストレージサービスドライブをご利用の場合、提供条件は以下の通りです。

■ＯＳ

以下のバージョンのOSが動作すること

OS	バージョン
Windows	Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC
	Windows 11
	Windows Server 2016 Standard Edition ,Datacenter Edition
	Windows Storage Server 2016 Workgroup Edition
	Windows Server 2019 Standard Edition ,Datacenter Edition
	Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup Edition
	Windows Server 2022 Standard Edition ,Datacenter Edition
	Windows Server IoT 2022 for Storage Workgroup Edition

※最新のWindows Updateが適用されていること

■ソフトウェア

アプリケーション名	バージョン
.NET Framework	4.7.2 以上

■ハードウェア＆ネットワーク

・空き容量：データコピー対象の全容量
※空き容量が3GB以上無いと書き込み不可となる
（例 50GBをコピーする場合は、53GB以上の空き容量が必要）
・メモリ：4GB 以上
・ネットワーク:100Mbps以上

ここに注意

・セキュリティ対策ソフトウェアなどをご利用されている場合、マウントしたドライブをフルスキャンや振る舞い検知の対象から除外するようにしてください。

※フルスキャンなどが実施されるたびに、スキャン対象のファイルのダウンロードが実行され、動作が遅くなる可能性があります。
※本サービスにアップロードされたファイルは随時ウイルスチェックをしています。
※詳細はご利用ガイド「操作編　管理者ユーザ詳細　ストレージサービスドライブ」をご覧ください。

・１度に大容量データを対象とするデータ移行を行う用途での利用は推奨しておりません。その場合は次ページのデータ転送ツールをご利用下さい。

・ご利用環境(ご利用端末のスペックやネットワーク環境等)により
ストレージサービスドライブ上でのキャッシュ動作(容量や処理速度等)が異なります。

7 提供条件

データ転送ツール

データ転送ツールをご利用の場合の提供条件は以下の通りです。

■ＯＳ

以下のバージョンのOSが動作すること

OS	バージョン
Windows	Windows 11
	Windows Server 2016 Standard Edition ,Datacenter Edition
	Windows Storage Server 2016 Workgroup Edition
	Windows Server 2019 Standard Edition ,Datacenter Edition
	Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup Edition
	Windows Server 2022 Standard Edition ,Datacenter Edition
	Windows Server IoT 2022 for Storage Workgroup Edition

※最新のWindows Updateが適用されていること

■ハードウェア＆ネットワーク

・空き容量（データ転送ツールを動かすディスク）　：10GB以上
・メモリ：8GB 以上（推奨）

■ブラウザ

以下のブラウザが動作すること

＜Windows＞

- **Microsoft Edge の最新版**
- **FireFox の最新版**
- **Google Chrome の最新版**

Microsoft Office連携

Microsoft Office連携機能をご利用の場合の提供条件は以下の通りです。
（※2022年9月時点）

■ Microsoft アカウント

※Microsoftアカウント認証のために、本サービスを回線認証からご利用の場合も、インターネット接続が必要です。

<編集時>

一般法人向け Microsoft アカウント
- Microsoft 365 Business Basic
- Microsoft 365 App for business
- Microsoft 365 Business Standard
- Microsoft 365 Business Premium

※ただし、ポリシー設定やフォルダロールで編集の利用許可設定が必要です。
詳細は、「操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」」を参照ください。

<プレビュー時>

不要
※ただし、ポリシー設定やフォルダロールでプレビューの利用許可設定が必要です。
設定方法については、「操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」」を参照ください。

※ポリシー設定でプレビューの利用許可設定がされていない場合、
本サービスのWeb上でのOfficeファイルのプレビューができなくなります。
設定方法については、「操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」」の「3.9. Microsoft Office 連携ポリシー」を参照ください。

■ 対象アプリケーション

・Web　PC用（※モバイル用UIは対象外）
・ストレージサービスドライブ（※バージョン1.0.18051以上）

ここに注意

Microsoft Office連携機能のご利用には、インターネット接続が必須です。
そのため、インターネット接続を許容しない場合※はMicrosoft Office連携機能（Officeファイルのプレビューを含む）はご利用できません。

※「利用マニュアル　操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」」の「3.9. Microsoft Office 連携ポリシー」をご参照ください。

7 提供条件

iOSアプリ

iOSアプリをご利用の場合の提供条件は以下の通りです。

■OS

OS	バージョン
iOS / iPad OS	18,26

ここに注意

■iOSアプリはiOS/iPad OS向けアプリです。

■iOSアプリのログインで、以下のログイン方法は未対応となり動作保証外です。
- Googleアカウント
- Facebookアカウント

■iOSアプリのログインで、回線認証は未対応です。
※「アクセス経路設定」が「回線認証のみ」の場合、
iOSアプリにログインできません。

■iOSアプリをご利用の場合、利用可能な機能は下記の通りです。
- ファイル操作：・アップロード　・ダウンロード
  ・移動　・削除
  ・プレビュー　・ファイル名の変更
  ・他のアプリケーションへ送る
  ・マイリスト（アプリ内のみ有効）
- フォルダの新規作成

※上記以外の機能をご利用の場合は、パソコンのWebやドライブから
ご利用ください。
※機能の詳細については、利用マニュアル「操作編（一般ユーザ）「iOSアプリ」
を参照ください。

■iOSアプリから本サービスへのアップロードは、「写真」アプリ内の画像／動画、または、カメラで撮影した画像／動画のみ実施可能です。
※ファイル名は、iOS/iPad OS管理上のファイル名になります。
必要に応じて、ファイル名の変更を実施してください。

■iOSアプリではファイルを編集できません。
編集方法ならびに編集したファイルの本サービスへのアップロード方法については、利用マニュアル「操作編（一般ユーザ）「iOSアプリ」を参照ください。

7 提供条件

ストレージサービス連携プラグイン for kintone

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをご利用の場合の提供条件は以下の通りです。

■ＯＳ

以下のバージョンのOSが動作すること

OS	バージョン
Windows	Windows 11
Mac	macOS 14 Sonoma
iOS / iPad OS	17,18
Android	14

■ブラウザ

以下のブラウザが動作すること

<Windows>

- **Microsoft Edge 最新版**
- **FireFox　最新版**
- **Google Chrome 最新版**

<Mac>

- **Safari 最新版**
- **FireFox**　最新**版**
- **GoogleChrome　最新版**

<iOS / iPad OS>

- **Safari最新2バージョン**　(例)iOS最新バージョンが「18」→提供条件は「17、18」

<Android>

- **Android 10以降のAndroid Chrome最新版**

ここに注意

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのログインで、回線認証は未対応です。
※「アクセス経路設定」が「回線認証のみ」の場合、
ストレージサービス連携プラグイン for kintoneを使用できません。

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneは、kintoneモバイルアプリには未対応です。
モバイルで使用する場合は、ブラウザ版のkintoneにてご利用ください。

■他プラグインとの併用は動作保証外です。
併用した際に発生した不具合についてはサポート外となります。

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneで利用可能な機能は下記の通りです。
●ファイル操作：・アップロード　・名前の変更　・プレビュー　・削除　・移動
・ストレージで対象ファイルを開く
●フォルダ操作：・新規作成　・名前の変更　・移動

※機能の詳細については、利用マニュアル「操作編（一般ユーザ）
「ストレージサービス連携プラグイン for kintone」を参照ください。

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneからのアップロードは、最大200MBです。

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneではファイルを編集できません。

8 仕様・制限事項

■ファイル／フォルダ関連

仕様・制限事項	制限
ファイル名・フォルダ名の利用文字制限	**＜以下のファイル名・フォルダ名は利用不可＞** Windowsのシステム予約語「CON, PRN, AUX, NUL,COM0, COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9,LPT0, LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9」ならびに、上記予約語名＋.（ドット）の文字、 半角スペースのみ,「.」のみ **＜以下の文字を含むファイル名・フォルダ名は利用不可＞** 「¥」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」
アップロードできないフォルダ	**X:¥RECYCLER** **X:¥System Volume Information** **X:¥$RECYCLE¥.BIN** ※ “X”はアップロード元のドライブレター
アップロードできないファイル	**desktop.ini** **thumbs.db** **.DS_Store** **~$から始まるファイル**(例：~$sample.docx) ※大文字小文字は区別されません
フォルダのパス長	「全社共有」と「パーソナルフォルダ」を除き **255文字まで**（「/」を含む） ※ストレージサービスドライブご利用時は、Windowsの制限により、マウントされているドライブ（Z:¥）も含めたパス長が255文字～260文字まで
ファイルのパス長	**255文字** ※ストレージサービスドライブご利用時は、Windowsの制限により、マウントされているドライブ（Z:¥）も含めたパス長が255文字～260文字まで
1フォルダあたりのサブフォルダ数（1フォルダ直下の階層）	**1,000サブフォルダ**
階層数	「全社共有」「パーソナルフォルダ」を含み**30階層**
1フォルダあたりのファイル数	**10,000まで**
ファイルサイズ	**最大10GB**
取り扱い可能なデータ形式	Thumbs.dbなど のローカル PC側の管理ファイル 以外の、 **WindowsOS上で認識可能なファイル全て**

8 仕様・制限事項

■ファイル／フォルダ関連

仕様・制限事項	制限
Web利用時の アップロード制限数	**最大 10,000ファイル** ※各フォルダの10,000ファイル未満の場合でも、Webから同時にアップロードするファイルが10,000を超えるとエラーになります。
ダウンロード制限数	**最大 10,000ファイル** ※複数ファイルやフォルダをダウンロードした場合に作成されるZIPファイルは「文字コード「UTF-8」」となるため解凍する際は、以下の方法で対応してください。 ・Windows標準の「すべて展開」で解凍する ・文字コード「UTF-8」に対応した解凍ソフト（例：7-Zip）を利用する
保管バージョン数	無制限
バージョン保管期間	**7日間** ※7日間経過した過去履歴ファイルは自動削除
マイリストに取り置きできる ファイル数	**100ファイル**
ごみ箱のデータ保存期間	**30日** ※自動的に30日で消去 ※ごみ箱にあるファイルの容量は使用容量に含まれます。
ファイルロックの 自動解除時間	**24時間**
共有リンク：アクション数 （プレビュー、ダウンロード）	**100回** ※「メールで送信」でパスワードを設定した共有リンクを発行した場合、宛先毎に上限のアクション回数を適用 ※「メールで送信」でパスワードの設定無、または「発行内容の確認」で共有リンクを発行した場合、リンクを共有したユーザ全員のアクション回数を合算
共有リンク：最大ファイル数	**100ファイル**
共有リンク：最長期間	**365日**
共有リンク：履歴保管期間 （証跡）	**1825日**
共有リンク：宛先の最大数	**50件**
プロジェクトフォルダ：1プロジェクトあたり社外メンバーの最大数	**200名**
プロジェクトフォルダ：パスコードの最大有効期間	**99時間**
プロジェクトフォルダ：メール通知数	1プロジェクトフォルダあたり**1時間に16通まで** ※制限を超えた場合はメール通知されません

■ファイル／フォルダ関連

仕様・制限事項	制限
Microsoft Office連携機能での同時編集	Microsoft Office連携機能の編集は対象※の一般法人向けMicrosoft365アカウントを保有していれば**可能** ※対象の一般法人向け Microsoft365アカウント Microsoft 365 Business Basic/Microsoft 365 App for business/Microsoft 365 Business Standard/Microsoft 365 Business Premium ※ドライブツールからデスクトップ用Officeアプリケーションで Officeファイルを開いた場合は本機能は無効です。
Microsoft Office連携可能なファイル形式	**<プレビュー・編集可能>** Open XML (.docx) マクロ (.docm) ※1 OpenDocument (.odt) Open XML (.xlsx, .xlsb) マクロ (.xlsm) ※2 OpenDocument (.ods) Open XML (.pptx, .ppsx) OpenDocument (.odp) **<プレビューのみ可能>** その他 (.dotm, .dotx) テンプレート (.pot, .potx) マクロ (.pptm, .potm, .potx, .ppsm) ※1 **<プレビュー・変換後編集可能>** バイナリ (.doc)：.docx に変換後編集可能 バイナリ (.xls)：.xlsxに変換後編集可能 バイナリ (.ppt, .pps)：.pptxに変換後編集可能 ※1.マクロの実行または変更はできません。 ※2.マクロが存在する場合、マクロを削除したファイルのコピーを保存するように求められます。 ※2022年9月時点

■ファイル・フォルダの移動制約

		移動先			
		全社共有	プロジェクトフォルダ	・パーソナルフォルダ ・スマートフォルダ	パーソナルフォルダ配下のプロジェクトフォルダ
移動元	全社共有	ファイル：○ フォルダ：○	ファイル：○ フォルダ：×	ファイル：× フォルダ：×	ファイル：× フォルダ：×
	プロジェクトフォルダ	ファイル：△ フォルダ：△ ※1	ファイル：○ フォルダ：△ ※2	ファイル：× フォルダ：×	ファイル：× フォルダ：×
	パーソナルフォルダ スマートフォルダ	ファイル：× フォルダ：×	ファイル：× フォルダ：×	ファイル：○ フォルダ：○	ファイル：○ フォルダ：×
	パーソナルフォルダ配下のプロジェクトフォルダ	ファイル：× フォルダ：×	ファイル：× フォルダ：×	ファイル：△ フォルダ：△ ※3	ファイル：○ フォルダ：△ ※4

○・・・移動可
×・・・移動不可
△・・・条件付き

※1．プロジェクトフォルダのオーナー、かつ、一般フォルダロールで許可されているフォルダへ移動可能

※2．フォルダの移動先は同プロジェクトフォルダ配下のみ可
同プロジェクトフォルダ以外への移動は不可

※3．パーソナルフォルダ配下のプロジェクトフォルダを作成したユーザのみ移動可能

※4．フォルダの移動先は同パーソナルフォルダ配下のプロジェクトフォルダ配下のみ可
同パーソナルフォルダ配下のプロジェクトフォルダ以外への移動は不可

■認証関連

仕様・制限事項	インターネットからご利用		
	メールアドレス/パスワード	他サービス認証	Active Directory認証
ワンタイムパスワードによる二段階認証	要(※１)	ご利用の認証連携サービスのアカウントの設定による	
Web	対応	対応	対応
ストレージサービスドライブ	対応	対応	対応
転送ツール	転送ツール専用の認証方法(※２)		
Microsoft Teams連携アプリ	対応	未対応	未対応

仕様・制限事項	回線認証でご利用		
	メールアドレス/パスワード	他サービス認証	Active Directory認証
ワンタイムパスワードによる二段階認証	不要	ご利用の認証連携サービスのアカウントの設定による	
Web	対応	対応	対応
ストレージサービスドライブ	対応	対応	対応
転送ツール	転送ツール専用の認証方法(※２)		
Microsoft Teams連携アプリ	未対応	未対応	未対応

※１．契約単位での2段階認証の有効/無効を設定可能です。
詳細は、「利用マニュアル　ログイン・メールアドレス（ID）、パスワード変更、アカウントロック解除編」を参照ください。

※２．転送ツール用のプロファイルとコードをログイン後にアプリケーションサイトから入手し、転送ツールの設定画面で設定が必要です。

仕様・制限事項	制限
同時ログイン※３（Web）	可能
同時ログイン※３（ストレージサービスドライブ）	不可
同時ログイン※４（ストレージサービスドライブとデータ転送ツール）	不可

※３．同一ユーザが複数の端末を利用し、同時にログインすることです。

※４．同一ユーザがストレージサービスドライブとデータ転送ツールに同時にログインすることです。

■認証関連

仕様・制限事項	制限
パスワードポリシー	10文字以上かつ 英大文字、英小文字、数字、記号のうち3種類以上利用
回線認証 提供可能回線	NTT東日本・NTT西日本の「フレッツ光ネクスト」、NTT東日本の「フレッツ光クロス」「フレッツ光クロスBiz」 ※光コラボレーション事業者様が提供する「光アクセスサービス」を含む ※IPv6オプションが必要
回線認証利用時のISP契約	必要（メール受信やログイン画面へのアクセスにインターネット接続は必要となります） ※IPv6 PPPoEでは回線認証機能はご利用いただけません。
回線認証利用時の Microsoft Office連携に関する 注意事項	Microsoft Office連携機能のご利用には、インターネット接続が必須です。 そのため、インターネット接続を許容しない場合※はMicrosoft Office連携機能（Officeファイルのプレビューを含む）はご利用できません。 ※「利用マニュアル　操作編（管理者ユーザ詳細）「ロールとポリシー」」の「3.9. Microsoft Office 連携ポリシー」をご参照ください。
回線番号登録数上限	**100件**
セッションタイムアウト時間 （Web, ストレージサービスドライブ）	**14日間** **※注意事項※** **ログインしてから14日間は再ログインせずに利用可能です。** **ただし、同じ端末を複数名（別ログインID）で使用されている場合は、利用終了後、ログアウトすることを推奨します。** **なお、再ログインせずに利用可能なのはセッション情報が記録されるログイン開始時から14日間であり、ログイン終了時からではありません。** Web：前回のログインから14日を経過していない場合は継続利用可能です。ただし、2時間操作しない場合、認証情報確認のポップアップが表示されますが、再認証は不要です。 ストレージサービスドライブ：前回のログインから14日を経過していない場合は継続利用可能です。2時間以上NWが遮断された場合、認証情報確認の通知とブラウザが立ち上がりログイン成功の画面が表示されますが、再認証は不要です。
セッションタイムアウト時間 （iOSアプリ）	**180日間** ログインしてから180日間は再ログインせずに利用可能です。

8 仕様・制限事項

■ユーザ・グループ関連

仕様・制限事項	制限
1ユーザが所属できるグループ数	20
共有PCにおける 別Windowsユーザによる同時利用	不可

■ドライブ関連

仕様・制限事項	制限
ファイルの排他制御 (同時編集による通知機能)	あり ※メモ帳など書き込みをロックしないアプリケーションの場合は通知はありません
システムログの保存容量	700MBまで
空き容量 （キャッシュフォルダに指定したドライブ（※デフォルトCドライブ））)	データコピー対象の全容量 ※3GBを切った場合は書き込み不可となり、おまかせクラウドストレージドライブが利用できなくなります

■その他

仕様・制限事項	制限
アドレス帳登録件数上限	500件
ログ&レポート： レポート閲覧可能期間	90日
ログ&レポート： 履歴ダウンロード	10年 ※使用容量を消費
ファイルログ閲覧可能期間	90日

9 ご利用方法について

本サービスの利用方法については、下記のマニュアルやからご確認ください。

利用マニュアル

https://www.ntt-west.co.jp/smb/plan/omakase_storage/

10 お問い合わせについて

本サービスに関するお問い合わせについては、
基本プランをご契約のお客様のみ対象となります。
本サービスに関して、操作がわからない等がありましたら、お問い合わせください。

※お問い合わせ先については、お申し込み後に送付する申込受付メールまたは
　申込完了メールの＜お問い合わせ先＞を参照ください。
※お申し込み後に送付する申込完了メールにて、問い合わせいただく際に必要な
　ご契約ID （OCF＋数字10桁）を送付します。
※当社システムの都合上、申込受付から当社サポートの受付開始まで数営業日
　かかる場合があります。

ご利用マニュアルに記載されていない動作になった等がありましたら、
お客様情報のほか、以下について確認させていただく場合がございます。
また、事象発生の都度、画面キャプチャやログ等を送付いただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

＜お問い合わせ時にご連絡いただきたい事項＞
・事象発生日時
・お客様の端末のOS、bit数
・対象のアプリケーション（Web、ストレージサービスドライブ、データ転送ツール）
　※ストレージサービスドライブ、データ転送ツールについてはご利用のバージョン
・事象内容
・実施された操作
　※各利用マニュアルのどのページか、ならびにどの操作なのかをご連絡ください
・事象発生時に表示されていた画面の画面キャプチャ

※ストレージサービスドライブやデータ転送ツールをご利用の場合、
　以下の利用マニュアルを参照いただき、上記に加え詳細な情報とログを送付ください。

＜ストレージサービスドライブ＞
「利用マニュアル　操作編（一般ユーザ）「ストレージサービスドライブ」」の
「１９．お問い合わせについて」

＜データ転送ツール＞
「利用マニュアル　操作編（管理者ユーザ詳細）「データ転送ツール」」の
「８．お問い合わせについて」

ここに注意

無料トライアルをご契約のお客様については、サポート対象外となります。